



新訂  
尋常小學唱歌

伴奏附

第一學年用



文部省

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

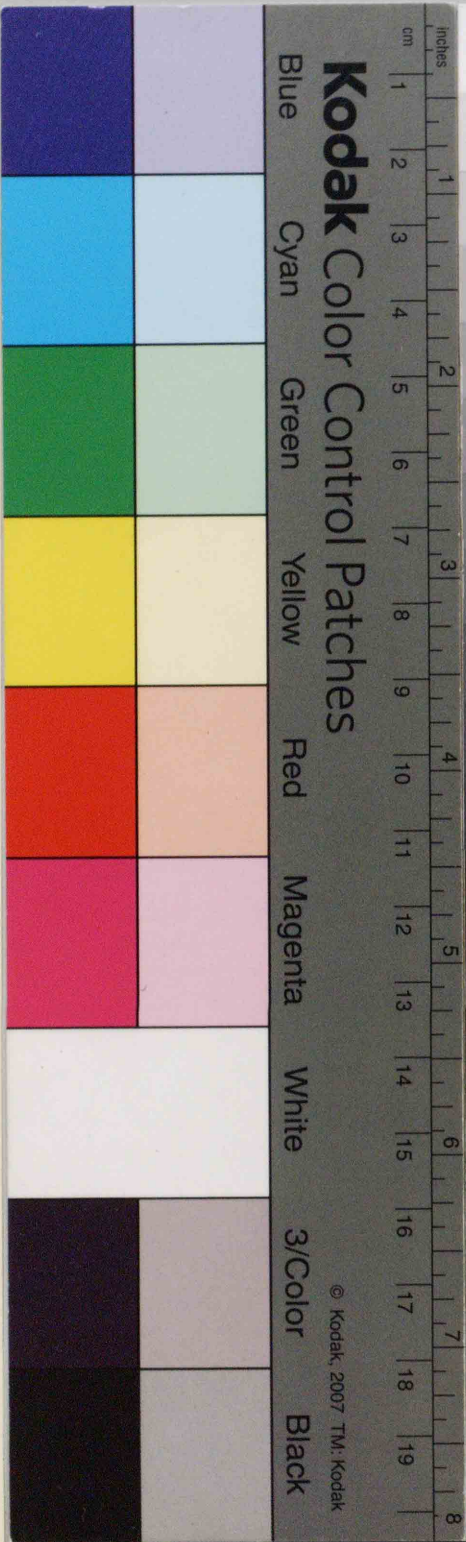


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



40957

教科書文庫

4
760
31-1932
01304 49422

中央図書館

広島大学図書

0130449422

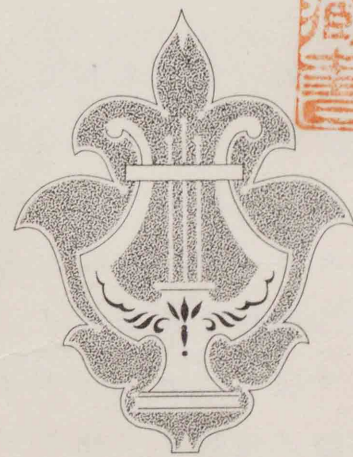


和声分解 研究

546.8H 4 — 46. H 4 卷 2

新訂  
尋常小學唱歌

伴奏附  
第一學年用



文部省

緒 言

- 一、本書ハ音楽教育ノ進歩ト時代ノ要求トニ鑑ミ、從來本省著作ニ係ル「尋常小學唱歌」ニ改訂ヲ加ヘタルモノナリ。
- 二、本書ハ每卷二十七章トシ、取扱者ニ選擇ノ餘地ヲ與ヘタリ。
- 三、本書ノ歌詞ハ、舊歌詞中ノ適切ナルモノ、新作ニ係ルモノ、及ビ<sup>尋常</sup>國語讀本・尋常小學讀本中ノ韻文ノ一部ヨリ成ル。
- 四、本書ノ歌詞ハ努メテ材料ヲ各方面ニ採リ、文體・用語等ハ成ルベク讀本ト歩調ヲ一ニセンコトヲ期セリ。
- 五、本書ノ教材排列ハ強ヒテ程度ノ難易ノミニヨラズ、一面季節ニツキテモ考慮セリ。
- 六、本書ハ取扱者ノ便宜ノタメ、唱歌曲ノミノ樂譜ヲ掲ゲタルモノト、伴奏附ノ樂譜ヲ掲ゲタルモノト、二種類ヲ作製セリ。教授ニ際シテハ其ノ何レヲ採用スルモ可ナリ。
- 七、伴奏附ノ樂譜ヲ使用スル場合ニハ、前奏・後奏ノ如キハ時トシテ省略スルモ可ナリ。

昭和七年四月

文 部 省

目 次

九	一	日の丸の旗	2
	二	鳩	4
九	三	兵隊さん	6
	四	おきやがりこぼし	8
	五	電車ごっこ	10
	六	人形	12
	七	ひよこ	14
	八	砂遊び	16
一年生	九	かたつむり	18
	一〇	牛若丸	20
	一一	朝顔	22
	一二	夕立	24
	一三	桃太郎	26
	一四	僕の弟	28
	一五	池の鯉	30
	一六	親の恩	32
	一七	一番星みつけた	34
	一八	烏	36
	一九	菊の花	38
	二〇	月	40
	二一	木の葉	42
	二二	つみ木	44
	二三	兔	46
	二四	雪達磨	48
	二五	紙鳶の歌	50
	二六	犬	52
	二七	花咲爺	54

飛  
鳥  
巻

目  
次



和音  
 四拍子  
 四拍子  
 吉原  
 伴奏  
 日の丸の旗

# 日の丸の旗

和音  
 一部  
 重奏型伴奏  
 (楽曲の伴奏に)

♩ = 108

First system of musical notation for the first part of the song. It includes a vocal line with lyrics and a piano accompaniment with chord symbols and fingering.

Vocal line:   
 シ ロ チ ニ ア カ ク  
 あ さ ひ の の ぼ る

Piano accompaniment:   
 mf 3 5 3 5 5

Chord symbols:   
 FI - V - I - V

Second system of musical notation. It includes a vocal line with lyrics and a piano accompaniment with chord symbols and fingering.

Vocal line:   
 ヒ ノ マ ル ソ メ テ  
 い き ほ ひ み せ て

Piano accompaniment:   
 3 3 3 5 3 5

Chord symbols:   
 I - 6 - IV - 6 I

Third system of musical notation. It includes a vocal line with lyrics and a piano accompaniment with chord symbols and fingering.

Vocal line:   
 ア ア ウ ツ ク シ ヤ  
 あ あ い さ ま し や

Piano accompaniment:   
 f 3 3 3 3 5

Chord symbols:   
 VI IV I V I - IV V

Second system of musical notation on the right page. It includes a vocal line with lyrics and a piano accompaniment with chord symbols and fingering.

Vocal line:   
 ニ ホ シ ノ ハ タ ハ  
 に ほ ん の は た は

Piano accompaniment:   
 mf 6 8 3 6 6 6 8

Chord symbols:   
 V 7 I - 6 || 7 III I

終止符あり

二、朝日  
 日本  
 の旗  
 は、  
 ああ  
 勇まし  
 や、  
 勢見  
 せて、

一、白地に赤く  
 日の丸  
 染めて、  
 日本  
 の旗  
 は、

# 日の丸の旗

日の丸の旗

一部

和音式

鳩

♩ = 96

鳩

一 ポツ ポツ ポ ハ ト ポツ ポ  
ニ ぼつ ぼつ ぼ は と ぼつ ぼ

マ メ ガ ホ シ イ カ ソ ラ ヤ ル ゾ  
ま め は う ま い か た べ た な ら

ミ ン ナ デ ナ カ ヨ ク タ ベ ニ コ イ  
いちどに そろつて とんでいけ

四

鳩

二鳩

一、ぼつ ぼつ ぼ、  
鳩 ぼつ ぼ、  
豆がほしいか、  
みんなで仲善く食べに來い。  
そらやるぞ。

二、ぼつ ぼつ ぼ、  
鳩 ぼつ ぼ、  
豆はうまいか、  
一度にそろつて飛んで行け。  
食べたなら、



一節

おきやがりこぼし

名歌

♩=100

おきやがりこぼし

A

一ハフ リダサレテ コロコロ コロピ  
ニいく どなげても いつでも おきる

*mf*

F: I - - - - V d.VII° | FIV I

B

カラダ ユスツ テムツ クト オキテ  
からた ゆすつ てむつ くと おきて

*mf*

V - - - - d.VII° | FV 他 I

C

八

アチラヲ ムイテ ダマツ テスワル  
こちらを むいて ひとを ばにらむ

*mf*

I - - - - IV - - - - I - - - -

おきやがりこぼし

B

オキヤガリ コボシハ オモシロイ  
おきやがり こぼしは をかしいな

*mf*

I - - - - V I - - - - d.VII° | FIV V7 I

- 四、おきやがりこぼし
- 一、投り出されてころころ轉び、  
體ゆすつてむつくと起きて、  
あちらを向いて黙つてすわる。  
おきやがりこぼしはおもしろい。
  - 二、幾度投げても何時でも起きる。  
體ゆすつてむつくと起きて、  
こちらを向いて人をばにらむ。  
おきやがりこぼしはをかしいな。



三拍子

分歌

# 電車ごっこ

伴奏電音型 (演奏状況により異なります)

♩=104

電車ごっこ

一 ウンテン シュ ハ キミダ シヤヤウ ハ ボクダ  
ニ うんてんしゆ は じやうーず でんしや は は や い

A

*mf*

D: I IV I

ア ト ノ ヨ ニ カ デン シヤ ノ オ キヤ ク  
つ ぎ は う へ の の こう ゑ ん ま へ た

B

I - V I V V

オ ノ リ ハ オ ハ ヤ ク ウ ゴ キ マ ス チ ン チ ン  
お お り は お は や く う ご き ま す ち ん ち ん

C  
10

*mp*

I IV - - - V I

電車ごっこ

## 五、電車ごっこ

一、運轉手は君だ、車掌は僕だ、

あとの四人が電車のお客。

お乗りはお早く。

動きます、ちんちん。

二、運轉手は上手、電車は早い。

つぎは上野の公園前だ。

お降りはお早く。

動きます、ちんちん。

三拍子式

分拍子式

旋律の可憐さに比べて、カヤギヤのサリサリの曲  
可憐さが躍々とした

伴

# 人形

人形

♩ = 104

一ツタシノニシキヤウハヨイニシキヤウ  
ニわたしのにんぎやうはよいにんぎやう

A

F: I V I V I V I

メハバツチリトイロジロデ  
うーたをうたへばねんねして

B

I IV I VI I V

チヒサイクチモトアキラシイ  
ひとりでおいてもなきません

C

I V I F V I V I

人形

ワタシノニシキヤウハヨイニシキヤウ  
わたしのにんぎやうはよいにんぎやう

A

I V I V I V I

六人形

一、わたしの人形はよい人形。  
目はばつちりといろじろで、  
小さい口もと愛らしい。

二、わたしの人形はよい人形。  
うたをうたへばねんねして、  
ひとりでおいても泣きません。

わたしの人形はよい人形。

三節形式  
伴一和声

ひよこ

重音型伴奏  
乳母上の便所から

♩ = 112

ひよこ

一ヒヨヒヨヒヨ一コ チヒサナ ヒヨコ  
二ひよひよひよ一こ かはいひよこ

*mp*

F#I — V VI I — IV V III I

キヤウ ダイ ナカ一ヨク イツ シヨニ アルーケ  
いつでもおやーにーたか れてねむーれ

I — V — I VI I — — II V I

ア シノ ッヨク ナ ラヌ ウチニ  
はねのながくならぬうちに

*mf*

V VII<sup>b</sup> I — V I VI<sup>b</sup> I V IV

トホクヘイクーナ ヒトリデイクーナ  
はなれてねる一な ひとりでねる一な

*mp*

F#I — V — I — VI<sup>b</sup> || V<sup>b</sup> I

七 ひよこ

一、ひよひよひよこ、ちひさなひよこ、  
兄弟なかく一しよに歩け。  
あしの強くならぬうちに、  
とほくへ行くな  
ひとりで行くな。

二、ひよひよひよこ、  
かはいひよこ、  
いつでも親にだかれて眠れ。  
はねの長くならぬうちに、  
離れて寝るな、  
ひとりで寝るな。

motiv / 変奏 <sup>オヤマ</sup> <sup>山田</sup> 見解?

# 砂遊び

♩=72 愚伴奏の標本と林 松木は批評す

砂遊び

— ッ ンテ モ ッ ンテ モ ク ヅ レ ル オ ヤ マ  
ニ ほ つ て も ほ つ て も う づ ま る お い け

*mp*

D<sub>3</sub> I — — — III<sub>7</sub> I —<sup>6</sup> V —

ス ナ ノ オ ヤ マ ハ ム ヅ カ シ イ  
す な の お い け は む づ か し い

IV V I —<sup>6</sup> — — — V I —

オ ヤ マ ガ デ キ タ ラ ト ン ネ ル ホ ヅ テ  
お い け が で き た ら う か さ う — お ふ ね

I — IV — I IV V I —<sup>6</sup> IV <sup>老</sup> V

キ シ ヤ フ ト ホ サ ウ ビ イ ホ ヅ ホ  
ふ ね は さ さ ぶ ね こ の は ぶ ね

I IV —<sup>6</sup> — — IV III I V<sub>7</sub> V I —

砂遊び

## 八 砂遊び

一、積んでも積んでもくづれるお山

砂のお山はむづかしい。

お山が出来たら、トンネル掘って、

汽車を通さう、びいぼつぽ。

二、掘つても掘つてもうづまるお池

砂のお池はむづかしい。

お池が出来たら、うかさう、お船

船はささ舟、木の葉舟。



# 牛若丸

♩ = 92

牛若丸

キヤウ シノ ウヘテ  
 うマ しわ のヒ  
 ノカ ヤ マシ ロヤ ハミ シノヒ  
 ゴマ デル ノー ハミ シノヒ  
 ツル シ は ヤ ミ ギヒ  
 一ノヤ ハミ シノヒ  
 ノをバ マ イケチ  
 コギヘ ンゲタ  
 ノをバ マ イケチ  
 ナガコ ナギナ タラ リアケテ  
 一ガコ ナギナ タラ リアケテ  
 ナガコ ナギナ タラ リアケテ

110

牛若丸

ウ シ カ メ ガ ケ テ キ リ カ カ ル  
 う シ ワ カ メ ガ ケ テ キ リ カ カ ル  
 オ ー ヘ ノ ア ベ ン ケ イ ア ヤ マ ツ タ

一〇、牛若丸

一、京の五條の橋の上  
 大のをとこの辨慶は  
 長い長刀ふりあげて  
 牛若めがけて切りかかる  
 牛若丸は飛びのいて  
 持った扇を投げつけて  
 来た来た来た  
 上へあがつて手を叩く  
 前やうしろや右左  
 ここと思へば又あら  
 ここの思へば又あら  
 ここの思へば又あら  
 ここの思へば又あら



111

朝 顔

♩ = 84

朝 顔

— マ イ ア サ マ イ ア サ サ ク ア サ カ ホ ハ  
ニ お ほ き な つ ぼ み は あ す さ く は な か

*mp*

F: I — — — IV I —

ヲ ト ト ヒ キ ノ フ ー ト ダ ン ダ ン フ エ テ  
ち ひ さ な つ ぼ み は あ さ つ て さ く か

IV — I — V — F V

ケ サ ハ シ ロ ヨ ツ ム ラ サ キ イ ツ ツ  
は や く さ げ さ げ し ぼ り や あ か も

*mf*

I — IV I V — V III I

一、朝 顔

一、毎朝 毎朝

咲くあさがほは

をととひきのふとだんだんふえて

今朝はしろ四つむらさき五つ。

二、大きなつぼみは、あす咲くはなか。

ちひसानつぼみは、あさつて咲くか。

早く咲け咲け

絞や赤も。

林松不代 夕立

♪ = 112 より伴奏といえぬ

夕立

一 フ ル フ ル ユ フ ー タ チ ナ ル ナ ル カ ミ ナ リ  
ニ て る て る お ひ さ ま と ぶ と ぶ し ら く も

*mp*

*legato*

G I - V7 I - V7 I - V7 I -

コ ガ ハ ニ メ タ カ ラ ト ツ テ キ タ コ ド モ ハ  
が く か う ー に は れ ま を ま つ て ゐ た こ ど も は

*f*

V7 - V7 I I - - V -

ザ ル ラ カ ブ ツ テ イ ソ イ テ カ へ ル  
は ん を か か へ て し づ か に か へ る

*f*

I - V I - - V I V7 I V7 I

何処にか  
立見は不明

伴奏はたまたま

夕立

一三 夕立

一、降る降る夕立

鳴る鳴る雷

小川にめだかを取つてゐた子供は

箆をかぶつて急いで歸る。

二、照る照るお日様

飛ぶ飛ぶ白雲

學校にはれまを待つてゐた子供は

本をかかへて静かに歸る。





僕の弟

♩ = 78

僕の弟

一 ボクノ オトウトゴ ラウチャ ン  
二 ぼくの おとーうと ご らうー ちや ん

*mf*

D I E — V — — 3 11 7 V E — V

キシャ ノ オモチヤガ ダイスキデ オウチノ  
ごほん を よむのが おじやうずで どのほん

*mp* *mf*

I — 6 V I VI — 7 7 7 7 7 7 7 7 I — 6

ナ カデ ビイポツポ ア サカラ バンマデ ビイポツポ  
み ても はとほつぽ か いても ないのにはとほつぽ

*f*

V 7 11 I V 7 I VI V I 6 6 6 6 6 6 6 6 V — 7 I

僕の弟

一四 僕の弟

一、僕のおとらと五郎ちゃん  
汽車のおもちやがだいすきで、  
おうちのなかでびいぼつぽ、  
朝から晩までびいぼつぽ。  
二、僕のおとらと五郎ちゃん  
御本をよむのがお上手で、  
どの本見ても鳩ぼつぽ、  
書いてもないうに鳩ぼつぽ。

池の鯉

♩ = 96

池の鯉

G I - - - I - IV V

一、テ コ イ テ コ イ イ ケ ノ コ ヒ  
ニ、デ テ コ イ デ テ コ イ イ ケ ノ コ ヒ

I - - - - - IV V

ソ コ ノ マ ツ モ ノ シ ゲ ッ タ ナ カ デ  
キ シ ノ ヤ ナ ギ ノ シ ダ レ タ カ ケ ヘ

I - V I IV III V7 I V VI V +

〇三〇

6. 90824P

V IV III

池の鯉

I V - C V7 III G V7 I - - V - 7 F

一、出て来い、出て来い、池の鯉。  
 二、出て来い、出て来い、池の鯉。  
 三、出て来い、出て来い、池の鯉。  
 四、底の松藻のしげつた中で、  
 手のなる音を聞いたら来い。  
 岸の柳のしだれた陰へ、  
 投げた焼麩が見えたら来い。

三二

64 / 和歌 伴奏 1911 昭和 2 年 1 月 1 日

親の恩

親の恩

♩ = 112

一ノキニ スヲクフ ツバメヲ ミターカ  
ニひよこそだてる めんどりみたか

*mp*

G<sub>1</sub> I V<sub>7</sub> I V<sub>7</sub> I - <sup>6</sup>V<sub>7</sub> I<sup>6</sup> V I

アメノフルヒモカゼフクヒニモ  
ここのことこどもをよんで

*mf*

I - <sup>6</sup>V I<sup>6</sup> V I - <sup>6</sup>V I<sup>6</sup> IV I

オヤハッラヲバアツチコツチトシテ  
にはのすみやはたけのなかで

IV I IV I<sup>4</sup> - <sup>6</sup>V I V<sup>6</sup> I

三三

ムシヲトツテキテコニタベサセル  
ゑをばさがしてこにひろはせる

*f*

I - <sup>6</sup>V I - <sup>6</sup>V I V<sup>7</sup> I

親の恩

一六、親の恩

一、軒に巢をくふ燕を見たか。  
雨の降る日も風吹く日にも、  
親は空をばあつちこつち飛んで、  
蟲をとつて来て子に食べさせる。

二、ひよこ育てる牝鶏見たか。  
ここのこと子供を呼んで、  
庭の隅やはたけの中で、  
餌をば探して子に拾はせる。

三三

研丸の串

G dur — e1 moll

研丸の串

d1 moll 一番星みつけた

(これはハズレ)

♩ = 120

一番星みつけた

— イチバン ホシ ミツケ タ ア レ ア ノ

モ リ ノ ス キ ノ キ ノ ウ ヘ ニ

ニ に — ばん ほ し み つ け た あ れ あ の

ど て の や な き の き の う ヘ ニ

四三

三 サ ン バ ン ホ シ ミ ツ ケ タ ア レ ア ノ

ヤ マ ノ マ ツ ノ キ ノ ウ ヘ ニ

一番星みつけた

- 一、一番星みつけた。  
あれあの森の  
杉の木の上に。
- 二、二番星みつけた。  
あれあのどての  
柳の木の上に。
- 三、三番星みつけた。  
あれあの山の  
松の木の上に。

一七、一番星みつけた

三五

鳥

♩ = 84

鳥

カ アカ ア カラ スガ ナ イテ イ ク

*mp*

F: I - - - 117 I 117 V -

カ ラ ス カ ラ ス ド コ ヘ イ ク

I < V IV I - IV I

オ ミ ヤ ノ モ リ ヘ オ テ ラ ノ ヤ ネ ヘ

*p*

I VI I - - VI I -

鳥

カ アカ ア カラ スガ ナ イテ イ ク

*mp*

I - - - 117 I V - I

鳥<sup>かき</sup> か お お 何<sup>ど</sup> 鳥<sup>かき</sup> 鳥<sup>かき</sup> か  
 が あ 寺<sup>てら</sup> の 宮<sup>みや</sup> 何<sup>ど</sup> 鳥<sup>かき</sup> が あ  
 な か の 宮<sup>みや</sup> 處<sup>ところ</sup> 鳥<sup>かき</sup> な か  
 い あ の 森<sup>もり</sup> へ 行<sup>い</sup> 鳥<sup>かき</sup> い て  
 て あ 屋<sup>や</sup> の 森<sup>もり</sup> 行<sup>い</sup> 鳥<sup>かき</sup> 行<sup>い</sup>  
 行<sup>い</sup> 根<sup>ね</sup> へ へ へ へ へ へ へ へ  
 へ へ へ へ へ へ へ へ

一八 鳥

菊の花

仲夏(有聲伴名教和音)

♩ = 108

菊の花

Musical score for 'Chrysanthemum Flower' in 4/4 time, key of D major. The score consists of a vocal line and a piano accompaniment. The piano part includes dynamic markings (mf, mp, f) and chord symbols (G, I, V7, I, V7, I, V, I, I, V7, I, I). The lyrics are written in Japanese characters below the vocal line.

Lyrics:  
 一 ミゴトニサイタカキネノコギーク  
 ニみごとにさいたかきねのこぎーク  
 ヒトツトリタイキイロナハナヲ  
 ひとつとりたいまつしろなはなを  
 ヘイタイアソビノクンシャウニ  
 ままごとあそびのちそうに

菊の花

一九、菊の花

一、見事に咲いたかきねの小菊  
 一、つ取りたい、  
 黄色な花を、  
 兵隊遊の勳章に。  
 二、見事に咲いた垣根の小菊  
 一、つ取りたい、  
 眞白な花を、  
 飯事遊の御馳走に。

月

♩ = 88

月

一、タ デ タ デ ツ キ ガ  
 ニ、か く れ た く も に  
 三、マ タ テ タ ツ キ ガ

マ ル イ マ ル イ マ ン マ ル イ  
 く ろ い く ろ い ま つ く ろ い  
 マ ル イ マ ル イ マ ン マ ル イ

ホ ン ノ ヤウ ナ ツ キ ガ  
 す み の やう な く も に  
 ホ ン ノ ヤウ ナ ツ キ ガ

四〇

月

二〇、月

一、出た、出た、出た、月が。  
 圓い、圓い、圓い、まんまるい  
 盆のやうな月が。

二、隠れた、雲に。  
 黒い、黒い、まつくろい  
 墨のやうな雲に。

三、また出た、月が。  
 圓い、まんまるい  
 盆のやうな月が。



木の葉

♩ = 92

木の葉

First system of musical notation for '木の葉'. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The vocal line has lyrics: ードコカラ キタノカ トン デキ タ キノハ ニどこから きたのか とん できた きのは. The piano accompaniment is marked 'mp' and 'leggiero'. There are red numbers 3, 5, 4, 3 written above the piano part.

D: I - V I V I I V -

Second system of musical notation for '木の葉'. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The vocal line has lyrics: クルクル マハツ テクモノスニ カカリ ひらひら まつてき て いけのうへに おちて. The piano accompaniment has red numbers 3, 5, 3, 5, 8, 5, 6, 8, 3 written above it.

I AVII<sub>7</sub> I D:V<sub>7</sub> I V 終 || 終<sub>7</sub> - I

Third system of musical notation for '木の葉'. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The vocal line has lyrics: カゼニ フカレテ ヒラヒラ スレバ なみに ゆられて ゆらゆら すれば. The piano accompaniment has red numbers 3, 3, 6, 6, 3, 8, 6 written above it.

D: I - || V<sub>2</sub> I - a:V<sub>7</sub> - I

木の葉

First system of musical notation on the second page. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The vocal line has lyrics: クモハムシカト ヨツ テク ル こひは ゑさかと うい てく る. The piano accompaniment is marked 'f' and 'mp'. There are red numbers 3, 3, 5, 5, 6, 8 written above it.

D: I a:V<sub>7</sub> I - D - V - 終 || I -

二、木の葉

- 一、何處から来たのか、飛んで来た木の葉、くるくるまはつて、蜘蛛の巣にかかり、風に吹かれて、ひらひらすれば、蜘蛛は蟲かと寄つて来る。
- 二、何處から来たのか、飛んで来た木の葉、ひらひら舞つて来て、池の上におちて、波にゆられて、ゆらゆらすれば、鯉は餌かと浮いて来る。

つ み 木

つ  
み  
木

♩ = 60

*mp leggiero sempre*

D: I - - - V - - - I V

一ツミキ ツミマシヨ サンカク シカク  
ニツみき つみましよ あをあか みどり

I - - - IV I V I

シカク サンカク ツミキ ツンダラ カハイイ  
みどり あかあを つみき つんだら せいやう -

*leggierissimo*

V D: I - I - I

四  
四

ニギヤウノ オウチガ デキタ  
にんぎやうのおうちができた

V I I V I

お	西	つ	つ	お	か	つ	つ	三
う	洋	み	緑	青	み	う	は	み
ち	人	木	木	ち	い	木	角	角
が	形	つ	赤	赤	つ	が	い	つ
出	の	ん	み	出	人	ん	三	四
来	だ	青	緑	来	形	だ	角	角
た	ら	ら	ま	た	の	ら	ま	し
			し				よ	よ
			よ					

三、  
つ  
み  
木

つ  
み  
木

四  
五

兎

♩=96

兎

一ツタシハウサギトマツスモノ  
ニゲーいはこれとてないけれど

カホヤカラタノチヒサイソリニ  
まへあしみじかくあとあしながく

ミミノナガイノガナニヨリジマン  
とんで はねるの が だれより じやうーず

兎

ミナサンヨクミテクダサイナ  
みなさんはやしてくださいな

三、兎

一、私は兎と申すもの、

顔や體の小さい割に、

耳の長いのが何より自慢。

皆さんよく見て下さいな。

二、藝はこれとて無いけれど、

前脚短く後脚長く、

飛んで跳ねるのが誰より上手。

皆さん囃して下さいな。

雪 達 磨

雪  
達  
磨

♩=100

一 タ ル マ タ ル マ ユ キ ダ ル マ  
ニ だ る ま だ る ま ゆ き だ る ま

ゴ モ ン ノ マ ヘ ノ ユ キ ダ ル マ  
と ほ り の か ど の ゆ き だ る ま

オ ホ キ ナ タ ド ン ノ メ タ マ フ ム イ テ  
な が い ま つ ば の お ひ げ を は や し

雪  
達  
磨

コ ハイ カ ホ シ テ タ ツ テ ル ネ  
る ば つ て あ た り を み て る る ね

二 四 雪 達 磨

一、 達磨、 達磨、 雪達磨、

御門の前の雪達磨、

大きな炭團の目玉をむいて、

こはい顔して立つてるね。

二、 達磨、 達磨、 雪達磨、

通の角の雪達磨、

長い松葉のおひげをはやし、

るばつてあたりを見てるね。

紙 鳶 の 歌 伴奏 重奏型 (歌表の表現に効果的)

紙鳶の歌

♩=112

一 タ コ タ コ ア カ レ  
ニ 糸 だ こ に じ だ こ  
三 ア レ ア レ サ カ ル

カ ヒ ヨ ク ウ ケ テ  
ド ち ら も ま け す  
ヒ ケ ヒ ケ イ ト ヲ

ク モ マ デ ア カ レ  
く も ま で あ が れ  
ア レ ア レ ア カ ル

五〇

紙鳶の歌

テ ン マ デ ア カ レ  
て ん ま で あ が れ  
ハ ン ナ ス ナ イ ト ヲ

二五、紙鳶の歌

一、紙鳶の揚る。  
風よ、紙鳶を揚る。  
雲ま、紙鳶を揚る。  
天ま、紙鳶を揚る。

二、繪紙に字紙を、  
雲ま、紙鳶を揚る。  
天ま、紙鳶を揚る。

三、あひ、紙鳶を揚る。  
天ま、紙鳶を揚る。  
雲ま、紙鳶を揚る。

五一

犬

♩ = 120

犬

一 ソ ト ヘ テ ル ト キ ト シ テ キ テ  
二 う ち ヘ カ ヘ ル と を を ふ つ て

オ ッ テ モ オ ッ テ モ ッ イ テ ク ル  
た も と に す が つ て う れ し が る

犬

ホ チ ハ ホン ト ニ カ ハ イ イ ナ  
ほ ち は ほ ん と に か は い い な

一、外へ出る時とんで来て、  
追つても追つても附いて来る。  
ほちはほんとかはいいな。  
二、内へ歸ると尾を振つて、  
袂たもとに縫ぬいつて嬉うれしがる。  
ほちはほんとかはいいな。

二六、犬

花 咲 爺

重音型 (教壇上の便りから)

花  
咲  
爺

♩ = 84

一 シャウ 一 チ キ チ イ カ ハ ヒ マ ケ バ  
ニ い ぢ わ る ぢ ぢ い が は ひ ま け ば

ノ ハ ラ モ ヤ マ モ ハ ナ サ カ リ  
め は な も く ち も は ひ た ら け

ト ノ サ マ タ イ ツ ヨ ロ コ ン テ  
と の さ ま た い ぞ う は ら を た て

花  
咲  
爺

チ チ イ ニ ハ ウ ヒ ヲ ク タ サ レ ル  
ぢ ぢ い に な は を か け ら れ る

一、正直爺が灰まけば  
野原も山も花ざかり。  
殿様大層よろこんで  
ぢぢいに褒美を下される。

二、意地悪爺が灰まけば  
目鼻も口も灰だらけ。  
殿様大層はらを立て  
ぢぢいに繩をかけられる。

二七、花 咲 爺

新訂  
尋常小學唱歌  
伴奏附

不許複製

第一學年用 定價金參拾八錢

昭和七年五月二十四日 印刷  
昭和七年五月二十八日 發行

著作權者 文 部 省

東京市京橋區銀座一丁目五番地

發行者 大日本圖書株式會社

代表者 專務取締役 杉山常次郎

東京市小石川區久堅町百〇八番地

印刷者 大橋光吉

東京市小石川區久堅町百〇八番地

印刷所 共同印刷株式會社

東京市京橋區銀座一丁目五番地

發行所 大日本圖書株式會社

振替貯金口座(東京二一九番)電話京橋二七三番二七四番

1917.7.19





広島大学図書

0130449422

